

市井喧争

太宰治

青空文庫

九月のはじめ、甲府からこの三鷹へ引越し、四日目の昼ごろ、百姓風俗の変な女が来て、この近所の百姓ですと嘘をついて、むりやり薔薇ばらを七本、押売りして、私は、贗物にせものだということは、わかっていたが、私自身の卑屈な弱さから、断り切れず四円まきあげられ、あとでたいへん不愉快な思いをしたのであるが、それから、ひとつき経って十月のはじめ、私は、そのときの贗百姓の有様を小説に書いて、文章に手を入れていたら、ひよっこり庭へ、ごめん下さいまし、私は、このさきの温室から来ました、何か草花の球根でも、と言い、四十くらいの男が、おどおど縁先で笑っている。こないだの贗百姓とは、ちがう人であるが同じたぐいのものであろうと思ひ、だめですよ、このあいだも薔薇を八本植えられてしまいました、と私は余裕のある笑顔でもって言ったら、その男は、少し顔が蒼あおくなり、

「なんですか。植えられてしまった、とはどんなことですか。」と急に居直つて、私にからんで来たのである。

私は恐ろしく、からだか、わくわく震えた。落ちつきを見せるために、机に頬杖ほおづえをつき、笑いを無理に浮べて、

「いいえ、ね、その庭の隅に、薔薇が植えられて在るでしょう！　それが、だまされて買ったんです。」

「私と、どんな関係があるんですか？　おかしなことを言うじゃないですか。私の顔を見て、植えられたとは、おかしなことを言うじゃないですか。」

私も、今は笑わず、

「君のことを言ってるんじゃないよ。先日私は、だまされて不愉快だから、そのことを言っているのですよ。君は、そんな、ものの言いかたをしちや、いけないよ。」

「へん。こごとを聞きに来たようなものだ。お互い、一対一じゃねえか。五厘でも、一銭でも、もうけさせてもらったら、私は商人だ。どんなにでも、へえへえしてあげるが、そうでもなければ、何もお前さんに、こごとを聞かされるようなことは、ねえんだ。」

「それあ、理窟だ。そんなら、僕だつて理窟を言うが、君は、僕を訪ねて来たんじゃないか。」誰に断つて、のこのこ、ひとの庭先なんかへ、やって来たんだ、と言おうと思つたが、あんまりそれは、あさましい理窟で、言うのを止めた。

「訪ねたから、それがどうしました。」商人は、私が言い澀よどんでいるので、つけこんで来た。「私だつて、一家のあるじだ。こごとなんて、聞きたくないや。だまされたなんて言

うけれど、こうして植えて、たのしんでいるじゃないですか。」凶星であった。私は、敗色が濃かった。

「それあ、たのしんでいる。僕は、四円もとられたんだぜ。」

「安いもんじゃないですか。」言下に反撥して来る。闘志満々である。「カフェへ行つて酒を呑むことを考えなさい。」失敬なことまで口走る。

「カフェなんかへは行かないよ。行きたくても、行けないんだ。四円なんて、僕には、おそろしく痛かつたんですよ。」実相をぶちまけるより他は無い。

「痛かつたかどうか、こつちの知つたことじゃないんです。」商人は、いよいよ勢を得て、へへんと私を嘲ちやうしやう笑した。「そんなに痛かつたら、あつさり白状して断れば、よかつたんだ。」

「それが僕の弱さだ。断れなかつたんだ。」

「そんなに弱くて、どうしますか。」いよいよ私を輕けいべつ蔑する。「男一匹、そんなに弱くてよくこの世の中に生きて行けますね。」生意気なやつである。

「僕も、そう思うんだ。だから、これからは、要らないときには、はっきり要らないと断ろうと覚悟していたのだ。そこへ、君が来たというわけなんだ。」

「はははは、」商人は、それを聞いてひどく笑った。「そういうわけですか。なるほどねえ。」とやはり、いや味な語調である。「わかりました。おいとましましょう。ここを聞きに来たんじやないんだからなあ。一對一だ。そっくりかえていることは無いんだ。」捨てぜりふを残して立ち去った。私はひそかに、ほっとした。

ふたたび、先日の麿百姓の描写に、あれこれと加筆して行きながら、私は、市井に住むことの、むずかしさを考えた。

隣部屋で縫物をしていた妻が、あとで出て来て、私の応対の仕方の拙劣を笑い、商人には、うんと金のある振りを見せなければ、すぐ、あんなにばかにするものだ、四円が痛かったなど、下品なことは、これから、おっしやらないように、と言った。

青空文庫情報

底本：「もの思う葦」新潮文庫、新潮社

1980（昭和55）年9月25日発行

1998（平成10）年10月15日39刷

入力：蔣龍

校正：今井忠夫

2004年6月16日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたってのは、ボランティアの皆さんです。

市井喧争

太宰治

2020年 7月17日 初版

奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>